

京都文芸復興シリーズ  
第2回

井上八千代

# 京舞の夕べ

日時 平成14年11月9日(土) ①午後1時開演 ②午後4時半開演

会場 京都芸術劇場「春秋座」

入場料 一般6,000円 学生席1,500円(消費税込・全席指定)

前売開始 平成14年8月9日(金)

チケット発売 京都芸術劇場企画運営室 0757918240

チケットぴあ 0663639999

主催 京都造形芸術大学  
制作協力 祇園甲部歌舞会  
京都舞台 高橋舞台 パシフィックアートセンター 小林衣装  
八木かつら 和田おしろい  
協力 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター



# 井上八千代 京舞の夕べ



井上八千代

一九五六年 十一月二日 京都府に生まれる  
一九五九年 井上流入門 祖母四世井上八千代の薫陶を受く  
一九七五年 私立ノートルダム女学院高校卒業  
八坂女紅梅学園教師現となり指導並びに修業に専念  
祇園甲部歌舞会主催「都をどり」並びに温習会の指導に参加

一九八二年 京都市芸術新人賞  
一九八三年 第三回芸術選奨文部大臣新人賞  
一九八八年 第六回京都府文化賞奨励賞  
一九九〇年 大阪文化祭賞  
花柳寿応賞新人賞  
一九九三年 「都をどり」の振付に参加  
一九九九年 第四回芸術選奨文部大臣賞  
日本芸術院賞受賞  
二〇〇〇年 五世井上八千代を襲名



井上かづ子

一九二八年 三世井上八千代曾孫として生まれる  
一九三二年 四世井上八千代に入門  
一九三四年 三世井上八千代祝賀会で初舞台  
一九四五年 四世井上八千代の内弟子に入る  
一九四七年 名取許される  
一九四八年 八坂女紅梅学園芸芸専門学校の教師になる  
一九六三年 梅会を致枝と共に結成  
一九八九年 京都府文化賞功労賞  
一九九〇年 日本文化振興会賞特別賞  
一九九八年 京都府無形文化財に認定

35分

休憩  
20分

60分

## 一 地唄 口切（くちきり）井上八千代

茶道の口切り（初冬に新茶の壺の口を切る）に因んだ曲。点前を取入れた振でほのかに恋心をただよわせます。服紗の朱が印象的な舞。

## 二 地唄 鉄輪（かなわ）井上かづ子

捨てられた男へ復讐するため鬼となることを願った女の執念。能鉄輪に取材した曲です。井上流の本行の代表的なもののひとつです。

## 三 義太夫 信乃（しの）井上八千代

「南総里見八犬伝」の世界を京舞に仕立てた曲。娘姿の犬塚信乃があざやかに若武者へと変身します。現在、井上流のみに伝わる大曲です。

## 四 上方唄 十二月（じゅうにつき）

井上真琴 井上小りん 井上豆花 井上佳つ磨 井上多満葉 井上照豊 井上まめ園 井上フク愛

廊の年中行事を手まり唄風につづり合わせた曲。芸妓が華やかに舞を通して十二月の習わしを紹介します。

2回目上演後

井上八千代をまじえたトークショーがあります。

〔地唄〕

富山清琴

〔義太夫〕

「浄瑠璃」竹本友香 竹本駒輝 「三味線」鶴澤津賀寿 鶴澤津賀栄

〔上方唄〕

祇園甲部 だん栄 幸良 一丸 小ます 恵美二 君日紹 君彌 だん佑

〔鳴物〕

「笛」藤舎秀達 「囃子」六郷新之丞 六郷新之助 望月太十郎

### 京都芸術劇場「春秋座」

■ JR「京都」駅 / 京阪「三条」駅 / 阪急「河原町」駅から（京都駅からは約50分）→京都市バス5番「岩倉」行き乗車「上終町・京都造形芸大前」下車  
■ 市営地下鉄「北大路駅」から（約15分）→京都市バス204循環に乗車「上終町・京都造形芸大前」下車  
■ 叡山電鉄「茶山」駅から→徒歩10分  
※駐車場はございません。車での来場は御遠慮下さい。



井上小りん



井上佳つ磨



井上多満葉



井上まめ園



井上真琴



井上豆花



井上豆千鶴



井上照豊



井上フク愛

